

屋久島における世界遺産管理体制、管理計画について（たたき台）

1. 管理体制、管理計画見直しのポイント

- 日本の遺産管理における全国的な整合性と、屋久島特有の事情のバランスを踏まえて、地域連絡会議と科学委員会の両方の体制を見直し、各組織（管理機関である行政、地域連絡会議、科学委員会）の役割の明確化を図る。
- 既存の検討の枠組みと遺産管理とを体系的に整理し、限りある人的資源を考慮した管理の効率化を図る。
- 科学委員会については、検討（助言を得る）テーマの明確化を意識し、必要に応じて検討テーマの個別化（WGの設置）を検討する。
- 管理体制の見直しと、遺産管理計画の見直しとの連動性を考慮する。

2. 管理体制、管理計画見直しの方向性（素案）

- 屋久島においては、既存の①屋久島山岳部保全利用協議会（事務局：屋久島町）や②屋久島山岳部の利用のあり方協議会（事務局：環境省）が、地域連絡会議やその部会と類似の役割を担っており、関係性の整理を行う。（一方で、①協議会は、マイカー規制や山岳部保全協力金の運用組織としての実務的な役割も担っていることから、町による協力金の運用体制等の検討との調整が必須）。
- 既存の検討の枠組みを遺産管理と連動させ、必要に応じて将来的な体系化を検討する。

【例】

- ・ 高層湿原保全対策検討会→科学委員会のWG？
- ・ 山岳部利用のあり方検討会→地域連絡会議の部会？
- ・ 山岳部保全利用協議会_協力金制度検討部会→地域連絡会議の部会？
- 管理計画については、地域関係者を巻き込んだ検討のプロセスと遺産管理への参画を重視し、計画の見直しに向けた課題整理等を進めることと並行して、検討への参加が見込まれる地域関係者に対して、既存の検討の枠組みとの関係性を考慮しつつ、丁寧な下地作りを行う。

※参考：H30年度の科学委員会、地域連絡会議における主な意見

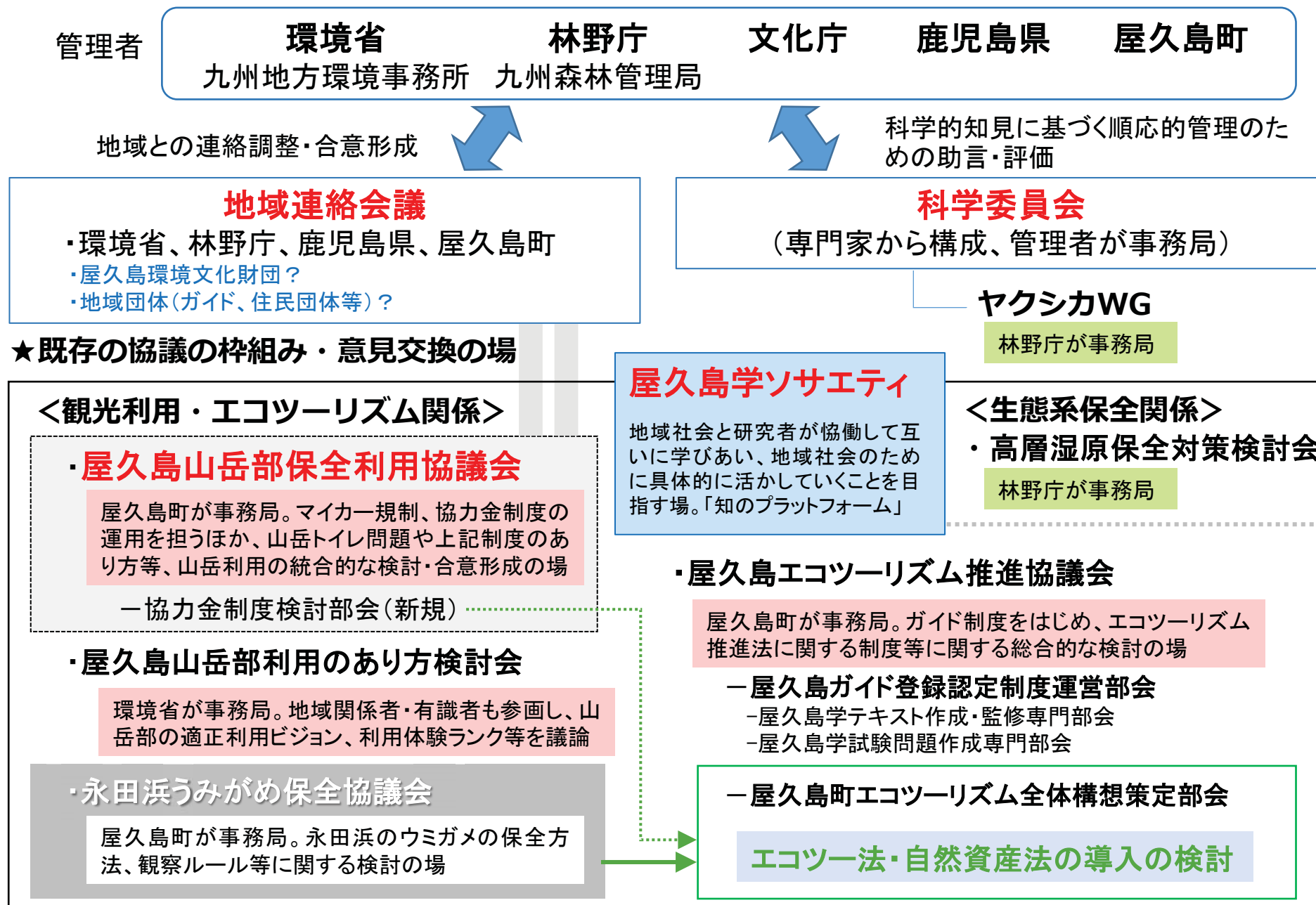
<H31.2 第2回科学委員会>

- ① 地域連絡会議の見直しだけでなく、科学委員会のあり方（ガバナンスの担保、WGの機能強化等）についても併せて実施すべき。
- ② 地元の市民科学的な立場や、民族学的な視点からコメントできる方々には科学委員会と地域連絡会議の両方に入っていただく体制を担保してほしい。
- ③ 地域連絡会議には、科学委員会委員長のほかにも希望する委員はオブザーバーとして参加するなど、両会議の連携協力強化を図っていくこととしてほしい。
- ④ 地域ごとの事象は重視すべきだが、他地域との整理はすべき。行政の役割と科学委員会の役割が混乱しているため、科学委員会と地域連絡会議については本省（環境省計画課と林野庁経営企画課）で整理すべきだと思う。
- ⑤ 管理主体が計画、企画運営、基本的方針、中長期展望を含めて出せば、科学委員会、地域連絡会議のやるべき課題が見えてくる。

<H30.2, 31.2 地域連絡会議>

- ① 別のレイアの会議になるとか、非効率的な構図が生まれるとか、いろんな会議があつて分かりにくい…などとならないように、効率的な全体の仕組みとなることを目指すべき。
- ② 科学委員会だけでなく、地域連絡会議の今後の全体像や、地域連絡会議を地域の幅広い関係者との協議の場にしていくのか、管理計画の見直しを考えていかないといけない。
- ③ 他の世界遺産地域では、地域連絡会議は管理計画の公認の場になっている。それにならうのであれば、管理機関以外の取り組みを書いていく可能性があるのだったら、管理計画の策定プロセスに地域が参画し、地域連絡会議に何らかの形で入っていないと納得してもらえない。
- ④ 科学委員会でいろんなネタをごちゃ混ぜで議論している印象があり、科学委員会ではテーマを決めて、行政が求めたことについて助言をくださいという位置づけを明確にしたほうがいい。
- ⑤ 地域連絡会議も科学委員会も多様な意見をいただく場となると効率的な体制につながっていかない。科学委員会のメンバーも地域連絡会議と併せて、全体的な姿を変えないといけない。
- ⑥ 山岳部利用のあり方検討会は、メンバー的に科学委員会のWG的ではない。地域連絡会議の部会的。行政的な内容が含まれていて、今後ますますそうなる。一方で、花之江河検討会は、水利的なこと調査したりするものなので、科学委員会のWG的。その辺の整理をして科学委員会の役割を明確に伝えていくということもできる。

屋久島世界自然遺産地域の管理体制



IUCN 世界遺産アウトLOOKについて

<http://www.worldheritageoutlook.iucn.org/web/iucn/search-sites>

【IUCN 世界遺産アウトLOOKの概要】

○IUCN 独自の取組で、全世界自然遺産を対象に情報収集分析を行い、地域別に保全状況等を評価、公表するもの。

○世界遺産条約下の公式なものではないが、IUCN の認識がここに集約されることになるため、注視する必要がある。

○IUCN の説明によると、以下の通り。

・IUCN が既存情報*をもとに3年毎に保全状況を机上で5段階評価(別表参照)。

*IUCN World Heritage Consultation Formで寄せられた情報、ラムサールや生物圏保存地域等他の枠組での情報、GISや衛星画像、NGO等の保全優先地域等の情報、IUCNと世界遺産センターのミッション報告書、評価書、WCMCデータシート、委員会資料の保全状況報告、管理効率評価書、管理計画、地図、メディア、定期報告、保護地域データベース、科学論文、SOUV、委員会決議。

・自然遺産の数は増加しているものの委員会で審議できる件数は限られているため、遺産の保全状況をより積極的にモニタリングすることを目的としている。

・世界遺産委員会における保全状況報告とは異なり、状況の良いものを積極的に評価するという姿勢。

■各遺産地域の保全状況5段階評価は以下の通り。

地域	2014 評価	2017 評価
知床	good with some concerns	good with some concerns
白神山地	good	good
小笠原諸島	good with some concerns	good with some concerns
屋久島	good with some concerns	good with some concerns

世界遺産アウトロックスの保全状況 5 段階評価 (IUCN のアウトロックスのホームページより仮訳)

評価	定義
良好 Good	遺産地域の価値は良好な状態であり、現在の保全対策が維持されれば、予測できる範囲では将来的にも維持されると思われる。
やや懸念あり Good with some concern	いくらかの懸念はあるが、小規模な追加の保全措置を執れば遺産地域の価値は基本的に長期的に維持されると思われる。
懸念大 Significant concern	遺産地域の価値は脅威にさらされている及び／または劣化の兆候を示している。中長期的に価値を維持及び／または回復するためには、大幅な追加の保全措置が必要である。
危機的 Critical	遺産地域の価値は重大な脅威にさらされているか、大規模に劣化している。中長期的に価値を維持及び／または回復するためには、直ちに大規模な追加保全措置が必要であり、そうしなければ価値は失われる可能性がある。
情報不足 Data deficient	結論を出すには情報が不十分。



現在の状況及び傾向

評価
良好 Good
低い懸念 Low concern
懸念大 High concern
危機的 Critical

脅威

評価
脅威がとても小さい Very Low Threat
脅威が小さい Low Threat
脅威が大きい High Threat
脅威がとても大きい Very High Threat

保護管理

評価
高く有効 Highly Effective
有効 Effective
やや懸念あり Some Concern
深刻な懸念あり Serious Concern

全体及び共通項目の評価

項目	白神山地		屋久島		知床		小笠原	
	2014	2017	2014	2017	2014	2017	2014	2017
全体評価	Good	Good	Good with some concerns	Good with some concerns	Good with some concerns	Good with some concerns	Good with some concerns	Good with some concerns
Value (価値)	Low Concern	Low Concern	Low Concern	Low Concern	Low Concern	Low Concern	Low Concern	Low Concern
Trend (傾向)	Stable	Stable	Stable	Stable	Stable	Stable	Data Deficient	Stable
Threats (脅威)	Very Low Threat	Very Low Threat	Low Threat	High Threat	High Threat	High Threat	High Threat	High Threat
Current threats (現在の脅威)	Low Threat	Very Low Threat	Low Threat	High Threat	High Threat	High Threat	High Threat	High Threat
Potential threats (潜在的な脅威)	Low Concern	Low Threat	Low Threat	Low Threat	Low Threat	High Threat	Low Threat	Low Threat
Protection and Management (保護管理)	Effective	Effective	Some Concern	Some Concern	Some Concern	Some Concern	Effective	Effective
Relationships with local people (地域住民との関係)	Effective	Some Concern	Effective	Some Concern	Some Concern	Some Concern	Effective	Highly Effective
Legal framework (法体系)	Highly Effective	Highly Effective	Some Concern	Some Concern	Effective	Effective	Effective	Effective
Enforcement (法的執行状況)		Effective		Data Deficient		Effective		Effective
Integration into regional and national planning systems (地方又は国レベルのシステムへの統合)	Data Deficient	Effective	Data Deficient	Data Deficient	Effective	Effective	Effective	Effective
Management system (管理システム)	Effective	Effective	Some Concern	Some Concern	Effective	Effective	Effective	Effective
Management effectiveness (管理の有効性)	Highly Effective	Highly Effective	Some Concern	Some Concern	Effective	Some Concern	Data Deficient	Effective
Implementation of Committee decisions and recommendations (委員会決議・勧告の履行)	Highly Effective	Highly Effective	Some Concern	Some Concern	Some Concern	Some Concern	Effective	Some Concern
Boundaries (境界)	Some Concern	Some Concern	Some Concern	Some Concern	Some Concern	Some Concern	Effective	Effective
Sustainable finance (持続的財源)	Effective	Data Deficient	Some Concern	Some Concern	Some Concern	Highly Effective	Some Concern	Some Concern
Staff training and development (人材育成)	Effective	Data Deficient	Some Concern	Some Concern	Some Concern	Effective	Data Deficient	Data Deficient
Sustainable use (持続的利用)	Highly Effective	Effective	Some Concern	Some Concern	Serious Concern	Serious Concern	Effective	Effective
Education and interpretation programs (教育プログラム)	Highly Effective	Effective	Effective	Data Deficient	Some Concern	Some Concern	Effective	Effective
Tourism and visitation management (観光・来訪者管理)	Effective	Effective	Some Concern	Some Concern	Some Concern	Some Concern	Effective	Some Concern
Monitoring (モニタリング)	Data Deficient	Data Deficient	Some Concern	Some Concern	Some Concern	Effective	Effective	Effective
Research (調査研究)	Effective	Effective	Some Concern	Some Concern	Some Concern	Highly Effective	Effective	Effective

評価の詳細 屋久島

項目	細目	具体的な内容	2014		2017	
			Evaluation	Trend	Evaluation	Trend
Value			Low Concern	Stable		
	A diverse biota exhibiting significant endemism	固有性の高い多様な生物相	High Concern	Deteriorating	High Concern	Stable
	An island ecosystem with an unbroken sequence of old-growth forests from subtropical to cool-temperate climate	亜熱帯から冷温帯までの壊されていない古い森林の連続性を伴う島しょ生態系	Good	Stable	Good	Stable
	Outstanding scenic beauty	顕著な景観的美しさ	Good	Stable	Low Concern	Stable
	Forests of outstanding natural beauty	顕著な自然美を有する森林	Low Concern	Stable	Low Concern	Stable
	Assessment of the current state and trend of World Heritage values				Low Concern	Stable
Threats			Low Threat		High Threat	
	Current threats (現在の脅威)		Low Threat		High Threat	
	Tourism/ visitors/ recreation	観光利用	High Threat		High Threat	
	Avalanches/ Landslides	雪崩/地滑り	Low Threat		Low Threat	
	Earthquakes/ Tsunamis	地震/津波	Low Threat			
	Air Pollution	大気汚染	Data Deficient		High Threat	
	Hyper-Abundant Species	個体数が過度に多い種	ヤクシカ		High Threat	
	Potential threats (潜在的な脅威)		Low Threat		Low Threat	
	Earthquakes/ Tsunamis	地震/津波	Low Threat		Low Threat	
	Invasive Non-Native/ Alien Species	侵略的外来種	Data Deficient		Data Deficient	
	Logging/ Wood Harvesting	林業	Low Threat		Low Threat	
	Storms/Flooding	嵐/洪水			Low Threat	
	Hyper-Abundant Species	個体数が過度に多い種	ヤクシカ	Data Deficient		

詳細な評価内容は、HP参照

<http://www.worldheritageoutlook.iucn.org/>

知床世界自然遺産地域の管理体制

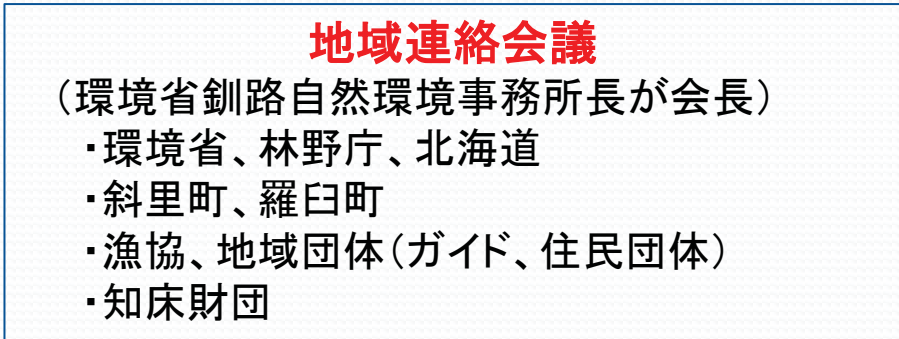
管理者



地域との連絡調整・合意形成



科学的知見に基づく順応的管理のための助言・評価



エゾシカ・ヒグマWG

海域WG

河川工作物AP

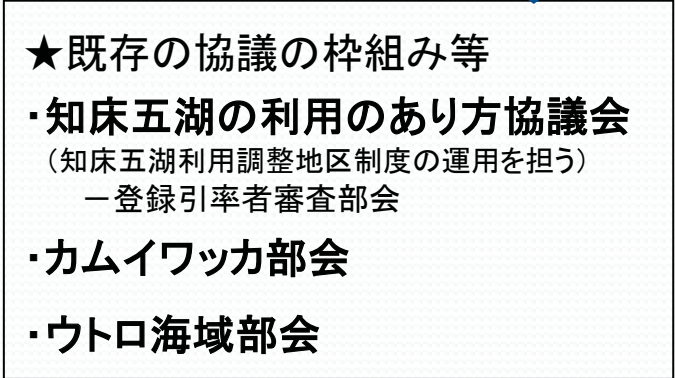
適正利用・エコツーリズムWG

適正利用・エコツーリズム部会

合同開催

適正利用・エコツーリズム検討会議

報告・共有・必要に応じて助言



知床の適正利用とエコツーリズム推進のための統合的な戦略の下、行政機関、地域団体(観光協会、漁協、ガイド等)、有識者等による検討の場
(個別テーマをスクラップ・ビルドで運営)

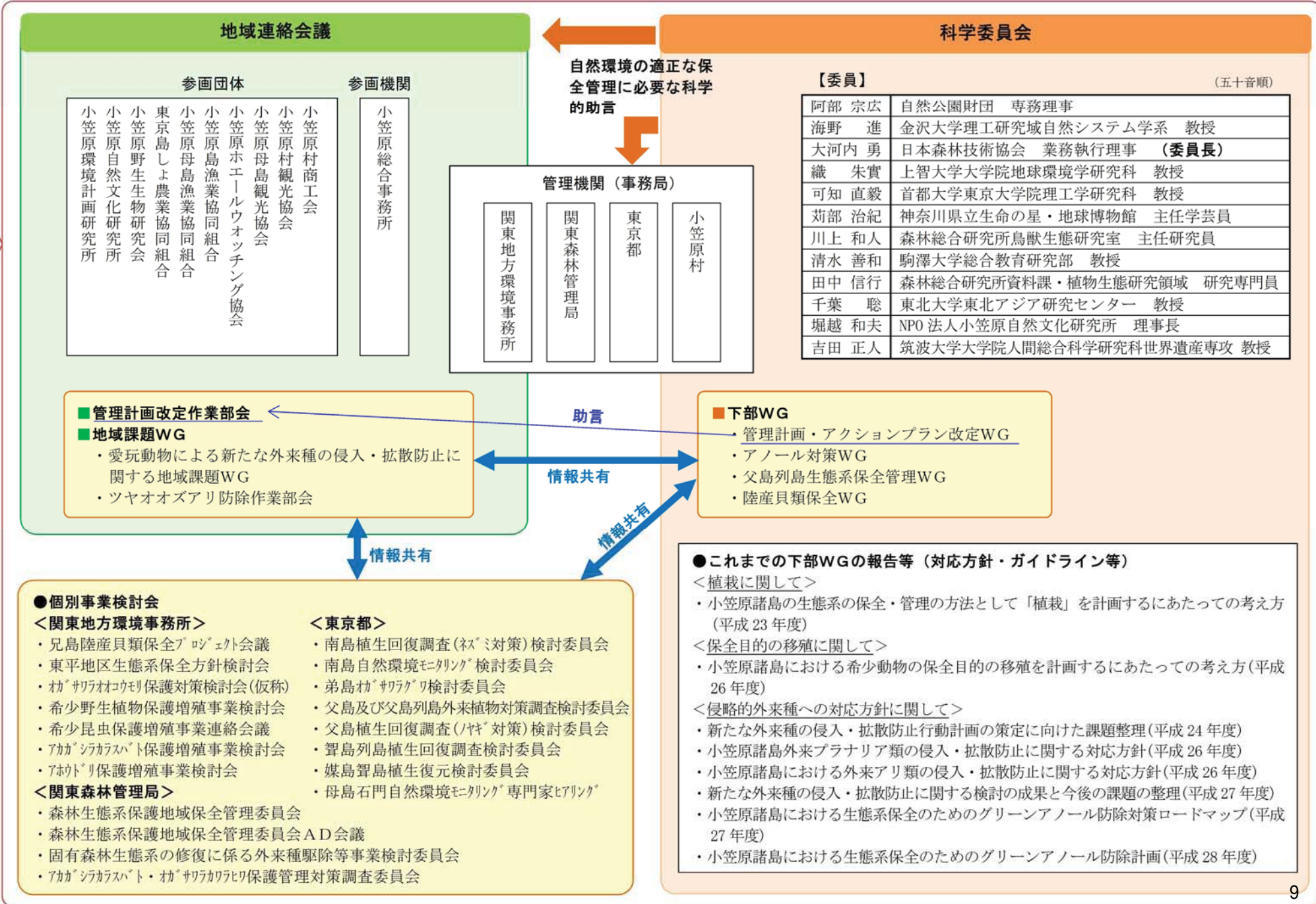
報告・評価・助言

赤岩地区昆布ツアー一部会

外国人旅行者向け情報発信の強化部会

知床五湖冬期利用促進事業検討部会

...



奄美・沖縄 世界自然遺産推薦地の管理体制

管理者

環境省沖縄奄美自然環境事務所、林野庁九州森林管理局、鹿児島県、沖縄県
奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町、徳之島町、天城町、伊仙町
国頭村、大宜味村、東村、竹富町

連携

地域との連絡調整・合意形成

科学的知見に基づく順応的
管理のための助言・評価

地域連絡会議

- 管理機関によって構成(市町村は首長がメンバー)
- 事務局長は沖縄奄美自然環境事務所長
- 包括的管理計画の策定・見直しや、4島共通の課題に関する意思決定、管理機関間の合意形成を行う

奄美大島部会

徳之島部会

沖縄島北部部会

西表島部会

- 島ごとの管理機関、その他の行政機関、保護団体や観光業者等が参画
- 事務局長は各県担当課長
- 島別の行動計画の進捗管理(点検、評価、見直し)、個別の課題に関する連絡調整等を行う

科学委員会

- 専門家20名(WGメンバー含む)
- 事務局長は沖縄奄美自然環境事務所長
- 島別の行動計画や個別の課題については、地域別のWGで検討し、各部会への科学的助言を行う。

奄美WG

沖縄WG

科学的助言

連携

連携

希少種の保護増殖や外来種対策、適正利用等に関する既存の会議